

# 令和5年度ごみゼロやまがた推進県民会議産業部会議事録

## 《日時》

令和6年2月19日（月）13時00分～14時00分

## 《場所》

山形県庁1201会議室

## 《出席委員》（※会長、副会長、委員名簿順）

千歳毅委員（会長）、黒澤利宏委員（副会長(部会長)）、五十嵐律子委員、石塚昭宏委員、大江うた子委員、川口正男委員、佐藤友介委員、庄司理沙委員、丹野善将委員（代理：細川江里子氏）、長谷川正芳委員（代理：山田茂雄氏）、原田周子委員 計11名

## 《産業部会》

### 1 開会

### 2 あいさつ（黒澤部会長）

### 3 議事（座長：黒澤部会長）

#### (1) 報告

##### ① ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等について

【各委員】（資料1により報告）

【事務局】（欠席委員報告分について、資料1により報告）

#### (2) 協議

##### ① 令和6年度「ごみゼロやまがた県民運動」（職場編）展開方針（案）について

【事務局】（資料2により説明）

## <質疑・意見等>

### 【佐藤委員】

ごみ排出量について、令和3年度の結果が最新なのか。今に即した情報がないと改善したかどうか判断できない。

### 【事務局】

令和5年度に令和4年度分の調査が行われるが、調査内容が複雑であり各市町村や環境省との調整などが多くあり、4年度の結果がようやく5年度末に確定するスケジュールとなっている。

### 【五十嵐委員】

一番ごみが少ないのが京都府というのは本当か。

**【事務局】**

以前は長野県の全国1位が続いていたが、コロナ禍の影響がみられた令和2年度からは京都府が1位となっている。

なお、これは産業廃棄物を除いた市町村等で処理する一般廃棄物についての、一人一日当たりとして集計したものであり、人口が多いと一人当たりでは少なくなるということもある。

**【大江委員】**

料理の持ち帰りについて、確かに持ち帰ってもらった方がごみは減るが、食中毒が心配である。

**【事務局】**

今年度実施した食べきり運動も10月から開始しており、暑い時期を避けて実施している。暑い時期を避けたり、生ものの持ち帰りは断ったり、食中毒のリスクを説明していただくなどして可能な範囲で持ち帰りを推進していただきたいと考えている。

**【五十嵐委員】**

料理の持ち帰りは食中毒のリスクがあることを踏まえ、お客様の自己責任として実施している。

**【黒澤部会長】**

県民運動（職場編）の展開方針案については、部会長に一任していただき、事務局と調整の上、来年度の総会に提出することとしてよいか。

**【各委員】**

異議なし（了承）

**② 令和6年度「ごみゼロやまがた県民運動」の活動内容（案）について**

**【事務局】**（資料2により説明）

**<質疑・意見等>**

**【庄司委員】**

マイボトルの普及は良いが、給水器を県庁舎等に設置するよりも、もっと人の集まる場所に設置した方が効果的ではないか。

**【事務局】**

まずは、県庁舎及び環境教育の拠点施設である県環境科学研究センターに設置することでマイボトルの普及啓発を積極的にPRし、県民に広く啓発するとともに、コンビニ、コーヒーショップなどでもマイボトルを利用できることを呼びかけることで、県内自治体への波及効果が見込められると思われる。

**【庄司委員】**

運動が広がることを期待します。

**【黒澤部会長】**

ごみゼロやまがた県民運動の活動内容（案）については、この内容で来年度の総会へ提出することによいか。

**【各委員】**

異議なし（了承）

**(3) その他**

**【原田委員】**

会議の資料については、当日紙で準備していただいているが、今回も佐藤委員はモバイルパソコンを持参し、画面で資料を閲覧されているように、ペーパーレスの会議を行ってはどうか。

**【事務局】**

会議資料については、事前にPDF資料をお送りし一度見ていただくとともに、会場には紙の資料を準備するため印刷は不要とお知らせしていたが、会場にはPDFで資料を入れたモバイルパソコンを準備するなど、ペーパーレス会議についても今後検討したい。

**【事務局】** 展開方針について、各団体におけるより一層の周知をお願いする。

**4 その他**

委員改選に係る今後のスケジュールについて説明

**5 閉会**